

福島県内大学図書館連絡協議会誌

第16号

平成27年3月

目 次

- 第31回 福島県内大学図書館連絡協議会総会議事録……………1
- 第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会報告…3
- 「電子書籍の可能性を考える—変わる利用者・変わる図書館」講演資料…5
- 「OCLC とディスカバリサービスの今後」講演資料……………14
- 相互利用参加館(公立図書館)紹介 : 白河市立図書館……………23
- トピックス: 郡山女子大学のラーニングcommons開設…………… 25
- 福島県内大学図書館連絡協議会会則……………27

第31回 福島県内大学図書館連絡協議会総会議事録

日 時 : 平成26年9月2日(火) 13:30 ~ 15:00

場 所 : いわき明星大学薬学部棟1階 16-103会議室

出席者 : 10館19名

開 会

あいさつ いわき明星大学図書館 館長 東 之弘

議長選出

平成26年度幹事館のいわき明星大学図書館長が、議長に選出された。

協議事項に先立ち、参加者の自己紹介及び各館近況報告がなされた。

1. 協議事項

(1)平成25年度福島県内大学図書館連絡協議会事業報告及び会計報告(案)

常任幹事館の福島大学附属図書館より、平成25年度事業報告及び会計報告(案)が資料に基づき報告がなされ、各々、承認された。

(2)会計監事の選出について

福島大学附属図書館より、会計監事の選出について、加盟館から会費を徴収し運用している以上、予算額の多寡に拘わらず、会計監査は行われるべきと考えたとの説明と、平成26年度から会計監事を毎年選出し、総会における会計報告時に、監事からの監査報告を行なうこととしたいとの提案がなされた。

協議の結果、提案の通り承認された。

また、会計監事の担当について、年度初めの会計監査実施のため常任幹事館の近隣館が望ましいとの理由により、平成26年度会計監事は福島県立医科大学附属学術情報センターへ依頼が出され了承を得た。

(3)会費の徴収について

福島大学附属図書館より、平成25年度第30回総会協議事項「平成25年度の会費の徴収を見送ることについて」の「25年度の会費徴収を見送り、次年度以降も残額等を見合わせて徴収または見送るということを判断」という内容で承認されたことについて、毎年度の「判断」の主体や時期が議事要録から読み取ることができない一方、提案理由に「繰越金額等により各年度で協議することを合わせて提案する」は、協議により判断する

ことを前提に承認されたとも推測され判然としないことにより、徴収有無の判断方法を含め、会費徴収について全般的に協議したいとの提案がなされた。

協議の結果、徴収の有無があると各加盟館の予算化が難しいこと、予算を確保しないと事業計画が立てられないことにより、毎年、会費を徴収することとした。なお、事業を計画する上で予算不足であれば、今後値上げの検討も必要かもしれないとの意見が出された。

(4)平成26年度福島県内大学図書館連絡協議会事業計画(案)及び予算(案)

常任幹事館の福島大学附属図書館より、平成26年度事業計画(案)及び上記1.(3)の協議の結果により会費が計上された予算(案)が資料に基づき説明がなされ、各々、承認された。

2. 承合事項

(1)延滞者への催促(督促)の対応フロー等について(提案館:会津大学情報センター)

会津大学情報センターより、承合事項「延滞者への催促(督促)の対応フロー等について」の説明がなされた。各加盟館より事前に提出された回答の資料を基に情報交換が行われた。

(2)インターネットのオンラインショッピングでの図書購入について

(提案館:いわき明星大学図書館)

いわき明星大学図書館より、承合事項「インターネットのオンラインショッピングでの図書購入について」の理由について説明がなされた。各加盟館より事前に提出された回答の資料を基に情報交換が行われた。

3. その他

(1)福島県内大学図書館連絡協議会平成26年度実務者研修会について

平成26年度はいわき地区が担当なので、幹事館のいわき明星大学図書館より、昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)、福島工業高等専門学校図書館の3館での担当で、会場は昌平館を予定しており、後日、開催時期、内容を案内することとした。

(2)次期幹事館について

次期幹事館に予定されている福島県立図書館より挨拶があった。

閉 会

閉会后、幹事館であるいわき明星大学図書館及び学習センターの見学・案内が希望者(13名)に対して行われた。

以上

第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会報告

第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会は、東日本国際大学を会場に10館(公立図書館含む)16名の参加のもと、本研修は「電子書籍」「ディスカバリサービス」をテーマとして、株式会社紀伊國屋書店からお二人を講師としてお招きして開催されました。

「電子書籍の可能性を考える—変わる利用者・変わる図書館」についての講演では、スマートフォン、タブレットの普及により、電子書籍の利用者が増加している現状を踏まえ、電子書籍の普及状況、電子教科書の導入事例を通して、今後の利用者サービスへの取り組みについて解説していただきました。

講演後の質疑応答では、参加者からの質問に講師より丁寧な回答がありました。

そして、「OCLC とディスカバリサービスの今後」の講演では、図書館が提供する様々なリソースを同一のインターフェイスで検索できるディスカバリサービスについて、その仕組みや活用事例を通して解説していただきました。

講演後の講演内容に関する質問とその回答により、仕組み等の理解を更に深めました。

最後に、会場の東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館を見学し、本研修会を終了しました。

当日の実施要項及び講演資料、電子書籍に関する事前アンケートの集計結果報告は以下のとおりです。なお、講演資料は公開用のため当日の配付資料とは一部異なります。

東日本国際大学・いわき短期大学昌平学図書館
福島工業高等専門学校図書館
いわき明星大学図書館

第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会実施要項

平成27年2月24日
福島県内大学図書館連絡協議会

1. 研修の目的

福島県内大学図書館連絡協議会では、年1回実務者研修会を開催することにより、現在の大学図書館が直面している諸問題に対する認識を深めている。また、その際、講演を拝聴するだけでなく、研修会の参加者個々人が意見交換を行う時間を設けることにより、参加者が問題をより自らに引き付けて考えるきっかけとするとともに、第1回研修会以来の「手作りの研修会」の伝統を継承する。

2. 受講対象者

- (1) 福島県内大学図書館連絡協議会加盟館の職員
- (2) 福島県内の公共図書館職員

3. 日程及び会場

日程:平成27年2月24日 13:00～16:10

会場:東日本国際大学・いわき短期大学 ラーニング・コモンズ室(4号館2階)

4. テーマ

(1) 講演1:電子書籍

(2) 講演2:ディスカバリサービス

5. スケジュール

12:30～13:00 受付

13:00～13:10 開会 東日本国際大学 昌平図書館長 北見正伸

13:10～14:10 講演1

「電子書籍の可能性を考える—変わる利用者・変わる図書館」

講師:株式会社 紀伊國屋書店

営業推進本部営業企画部 課長補佐 築瀬 裕子 氏

14:10～14:30 質疑応答1

14:30～14:50 休憩

14:50～15:50 講演2

「OCLC とディスカバリサービスの今後」

講師:株式会社 紀伊國屋書店

学術情報商品部OCLC センター 課長補佐 笹川 茂樹 氏

15:50～16:10 質疑応答2

16:10 閉会

※ 閉会后、希望の方へ東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館見学

以上

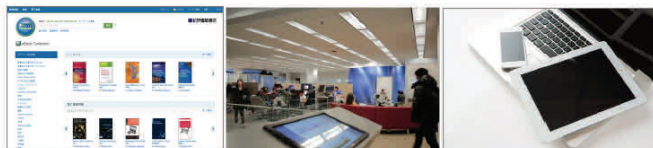
「電子書籍の可能性を考える—変わる利用者・変わる図書館」

講演資料

平成27年2月24日資料

第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会 様

電子書籍の可能性を考える 変わる利用者・変わる図書館



紀伊國屋書店

本日の内容

1. 電子書籍の普及
2. 電子書籍で変わる学習
 - ① 玉川大学様との電子教科書プロジェクト
 - ② 電子教科書の可能性と課題
3. 電子書籍で変わる図書館
 - ① 学術電子書籍の導入—NetLibrary
 - ② 新しい電子図書館モデル—LibrariE (JDLS)
 - ③ 変わる図書館の役割

(ご参考) 紀伊國屋書店の電子書籍サービス

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

2

冊子体と電子書籍



大阪市立鶴見図書館
「電子書籍はじめのいっぽ」
市民講座より (NetLibrary)

※紙書籍でも所蔵している電子書籍の違いを対比して説明

冊子体・・誰かが借りていると見ることができない。返却・予約解消を待つ必要がある。禁帯出は持ち出せない、図書館が閉まっていると利用できない。

eBook・・24時間どこからでもアクセス。PC、タブレット、スマートフォンなど好きなデバイスで見ることができ、本の中身を検索もできる。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

4

電子資料のメリット (機能面)

- ・ 速報性
- ・ リンク機能
- ・ 検索機能
- ・ マルチメディア機能
- ・ 付加情報：冊子体記事に未収録の追加情報など
- ・ 付加サービス
：登録による各種情報のアラート、取置機能など

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

5

1. 電子書籍の普及

電子資料のメリット (運用面)

- ・ マルチアクセス
- ・ 365日24時間サービス (原則)
：開館時間外でも閲覧可能
- ・ 絶版がない
- ・ 省スペース
- ・ 記事単位、章単位で購入可能なもの
- ・ 利用統計機能
：アクセス利用状況の把握が可能

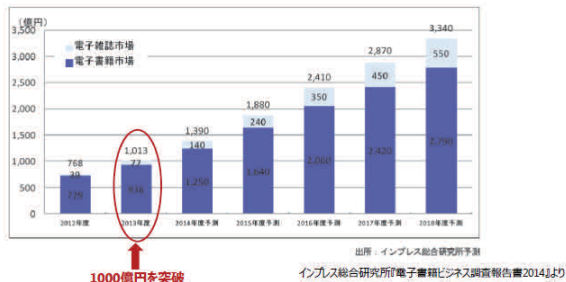
©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

3

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

6

日本の電子書籍・電子雑誌の市場規模



1000億円を突破

和書コンテンツは市場拡大中

・・・ただし、2014年まではエンタメ・娯楽中心

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

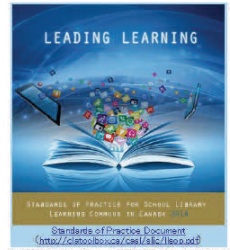
7

- 現在、学術・専門分野での利用は海外コンテンツが主
- 今後、国内でも電子図書館サービスなど団体向けサービスの充実が予想される

(補足)

- 大学図書館では、図書館のラーニング・コモンズ設置と共に語られることも多い

*ラーニング・コモンズ：複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めたさまざまな情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の自学自習を支援する図書館職員によるサービスも提供する。

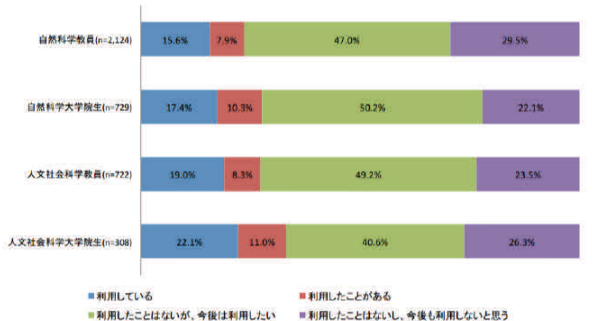


©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

10

電子書籍の利用状況 (大学)

Q21 電子書籍(文献)を表示できる端末を、研究・教育に関連する資料のために利用していますか？



©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

8

2. 電子書籍で変わる授業

— 玉川大学様とのKINOPPY教科書プロジェクト導入事例

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

電子書籍の状況

Q アメリカほか英語圏

- ✓ 電子書籍先進地域。大手数社の出版社で業界を構成しているため、電子化も進展
- ✓ 書籍の売上構成比中、電子書籍が1/2~1/3程度に到達
- ✓ 学術書コンテンツも多数

Q 日本

- ✓ 元々、フューチャーフォンで電子で読んでいる層が存在(コミック中心)
- ✓ 2010年以降、スマートフォンやタブレットなどのデバイス向け電子書籍が本格化
- ✓ これまでの経緯もあり、市場はコミックが牽引。学術書はこれから
- ✓ 現在、電子書籍の売上構成比は15%になったとの推定

2014年11月20日 EBook2.0 Magazine「英語圏が圧倒するE-Bookの世界市場」

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

9

これから必要な能力・変わる学習

- ✓ 未来を予測し、積極的に情報収集し、ビジョンを描く能力
- ✓ “読む力”をベースにした汎用的能力
- ↓ ↑
- ✓ デバイスリテラシーの向上
- ✓ アクティブ・ラーニング (双方向授業)
- ✓ 学生の主体的な学び

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

12

電子教科書へのとり組み

「いつでもどこでも」学習できる選択肢のご提供

- 電子書籍を現金で決済—MyKiTS
- ビューアは定評あるKinoppyで閲覧

MyKiTS 紀伊屋書店
教科書ストア

Kinoppyにて電子書籍を提供!



* Kinoppyとは紀伊屋書店が提供する電子書籍プラットフォームです。

* 玉川大学様とのプロジェクトを経て、数校で展開

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

プロジェクトの概要

1. 全教員に対して、電子書籍版教科書を学生が利用することを認めるかどうか、事前にアンケートを実施

アンケート結果にもとづいて、弊社が電子書籍版の製作を各出版社に対して交渉

2. 学生が、電子書籍版教科書を紙版と同じように、教科書販売会場で現金で購入できる仕組みを構築

教員の許可を得た教科書について、学生が電子書籍版が紙版が自分で選んで購入できる仕組みを構築

3. 半期の授業の最終日に、学生へのアンケートおよび学生・担当教員とのディスカッションを実施

実験!

市販の個人向け電子書籍は、学生の教科書として使えるか

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

16

① 玉川大学様との電子教科書プロジェクト

2014年01月14日

紀伊屋書店、玉川大学と電子書籍版教科書の共同プロジェクトを開始

玉川大学(東京都町田市、学長：小嶋芳明、以下「玉川大学」)と株式会社紀伊屋書店(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：高橋昌雄、以下「紀伊屋書店」)は、学生が電子書籍を教科書として活用できる環境を構築する共同プロジェクトの開始に合意いたしました。本プロジェクトでは、紀伊屋書店の電子書籍プラットフォーム Kinoppy®を稼働し、2014年4月から電子書籍版教科書を順次導入してまいります。

本プロジェクトでは、あらゆる電子書籍版教科書の活用が認められ、授業で学生が読む電子のいずれかを電子で教科書を購入できる仕組みとし、実際の授業では紙の教科書を使いながら電子教科書を使いながら授業を受けることとなります。担当教員は学生が電子書籍を使用した場合の学習効果を評価し、紀伊屋書店はその評価を特許的な電子書籍の利用料・有効性の向上に繋げてまいります。

KinoppyはPC、タブレット、スマホなどでもデジタルデバイス対応で、いつでもどこでも閲覧することができます。したがって、学生は通常の紙の教科書と同様に授業でも活用・確認が可能です。また、電子版の教科書を授業用端末に入れて持ち運びする必要はなく、1台のスマホやタブレットに複数の教科書を所持することができます。

玉川大学では、2013年4月より、学生が「売れたい思想を促進したい」と意識する原稿主から「何ができるようになったか」という感想を聞き取りました。具体的には、半期の履修上限単位を20単位から16単位に下げ、学生が主体的に学び、授業内容を身につけるような形の授業を行いました。また、学生の自主学習を促すために、授業前後に予習・復習を行う授業も実施しました。すでに導入しているBlackboard®(Blackboard)にも「電子教科書」の項目を追加し、電子教科書を購入していただくことで学生の主体的な学びが促進されると見えております。

この1年半で日本における電子書籍の利用はますます進んだものの、大学の教科書としてはまだ一部で実験的な取り組みに留まっている現状です。学生が教科書を購入する際に紙と電子の好きな方を自由に選べる環境も大学として整備する業務の国内での初めであり、学習・授業を促進した大学での電子教科書という新たなメディアがどのように普及していくのかを積極的に検証できる環境の構築が期待されています。

紀伊屋書店は、本プロジェクトを進め、半年十分程度経たない専門書の電子書籍化を出版社に対して積極的に働きかけてまいります。また、関係のプロジェクトも玉川大学にも応じていく計画です。

2014年1月
プレスリリース

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

<http://www.kinokuniya.co.jp/c/company/pressrelease/20140114/20320.html>

14

事前の準備



先生方への事前アンケート

約1,000点中130点以上の教科書について、「電子書籍版を推奨する」または「電子書籍版を容認する」とご回答いただいた。すでにKinoppy版が存在していたタイトルは10点あまり

出版社に対する電子書籍版製作の交渉

約1ヶ月で数10社と交渉を行い、10数点の電子書籍版をこの機会に新たに製作していただいた

今後の課題

- ・専門書系出版社はまだ電子書籍版製作に消極的
- ・教科書に指定されるタイトルは刊行が古いものが多く製作に手間とコストがかかる

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

17

プロジェクトを推進された先生のねらい

これまでの課題

ゼミ形式の授業なのに、学生が教科書の当該ページを予習して来ない。

ソリューション

学生はスマホやタブレットならいつでも持ち歩いている

電子書籍なら、

移動中やバイトの空き時間で予習して来るのでは?

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

15

教科書専用サイトの開発

教科書販売に特化したWEBサイト

MyKiTS 紀伊屋書店 教科書ストア

スマホでも、タブレットでも、パソコンでも いつでもどこでも 教科書が買える!

- ・学生がMyKiTSに会員登録・WEB上で教科書を選択、購入手続き
- ・教科書の支払い・受け取りは、学内(または宅配)で。電子書籍も現金で支払い可能。
- ・購入履歴を確認できるので、買い忘れ・重複購入を防ぎます。事前予約なので受け取りがスムーズ。
- ・国内で初めて、紙版と電子版の教科書を選択できる環境を整えました。
- ・教科書の電子化を弊社が促進します。また電子化されていない教科書についても、出版社に対して弊社から電子化を提案し、電子教科書の提供を実現します。

Kinoppy (キノッピー) 紙の本と電子書籍が購入できるストア。電子書籍版のビューア、購入履歴を確認できる専用アプリ(スマホ専用)、パソコンおよびタブレットデバイス向けに特化したユーザーインターフェースです。

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

18

利用者の反応

(その1) 授業見学・学生および教員とのディスカッション

4年生のゼミの授業を見学、先生も交えて学生たちとディスカッションを実施（授業最終日）

この授業では先生の指定で学生全員が電子書籍を利用

約20名の学生が iPhone、iPad、アンドロイド系、さまざまなデバイスを見ながら授業に参加

授業後の学生の声

荷物が少なく、軽くて済むのでありがたい。

他の授業も全て電子書籍版教科書にしてほしい

電子書籍はこの授業をきっかけに利用するようになった

去年までの紙の教科書ではぜんぜん読んでから出席が実行できていなかったが、電子なら読んで行ける

電子は紙の本に比べて読んだ実感があまりない

メーカー以外、書き込み、しおり、検索機能はあることも知らなかった

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

19

推進していただいた先生からのご要望

- 教科書として使える内容・レベルの電子書籍コンテンツをもっと増やしてほしい
- 現金で購入した学生に対して即時配信を実現してほしい
- 教科書1冊まるごとだけでなく、章単位の販売を可能にしてほしい

- ✓ コンテンツ制作の体制・コストの問題をどうフォローしていくか？
- ✓ 提供コンテンツのバリエーション（出版社交渉）
- ✓ システムのさらなる改善
- ✓ 授業・学習実態の把握とソリューション提案

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

22

(その2) 学生アンケート

電子書籍のみを使われた3つの授業（4年・3年・2年）で、学生アンケートを実施して内容を分析

| | 主な質問 | 4年生の回答 |
|-----|---|--|
| Q1 | 電子書籍版教科書はどんなデバイスで利用していますか？ | <ul style="list-style-type: none"> • 自宅PC：15% • スマホ：54% • タブレット：31% |
| Q2 | 電子書籍版教科書はいつどこで利用することが多いですか？ | <ul style="list-style-type: none"> • 自宅：32% • 授業間の空き時間：29% • 通学等の移動時間：35% |
| Q6 | 今後、ご自身が教科書を購入する際に紙と電子のいずれかを選択できるとしたら、どちらを購入されますか？ | <ul style="list-style-type: none"> • 紙の本：29% • 電子書籍：71% |
| Q13 | 電子書籍版教科書を購入する以前に、電子書籍を購入して読んだ経験はありますか？ | <ul style="list-style-type: none"> • はい：12% • いいえ：88% |

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

20

3. 電子書籍で変わる図書館

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

② 電子教科書の可能性と課題

電子書籍を使いこなすことは課題達成に繋がるのではないか

- ✓ 学生のデバイスリテラシーの向上
- ✓ アクティブ・ラーニング（双方向授業）
- ✓ 学生の主体的な学び
- ✓ 未来を予測し、積極的に情報収集し、ビジョンを描く能力
- ✓ “読む力”をベースにした汎用的能力

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

21

① 学術電子書籍の導入

■ NetLibraryとは（概要）



国内導入実績 340以上

- 大学(80%以上)、高専、企業、官公庁、公共図書館

海外導入実績（和書限定） 30以上

- 日本・アジア研究を担う大学・機関が中心

(2015年1月現在)

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

24

図書館業務の向上

- 書架スペースの節約
- 紛失、盗難、破損なし
- 禁帯出なし（レファレンス）
- 装備不要、MARC無償提供
- 納期短縮（最短1～2日から）
- 一括購入や年度未予算
- 窓口一本（出版社ごと不要）

利用者サービスの向上

- 24時間アクセス（時間外サービス）
- リモートアクセス（自宅、外出先、出張・留学先）
- 電子ジャーナルやデータベースとの相乗効果
- 冊子体との相乗効果
- 学生のIT活用力の向上

©KNOKUNYA COMPANY LTD.

25

オフライン貸出機能（無料追加オプション）



通読向け
じっくり読みたい
通勤環境を気にせず読みたい



- 1冊全部をダウンロード（貸出）
- PC、タブレット、スマートフォン
- 貸出期間終了＝ファイルが開けなくなり返却の扱い
- 同時アクセス数＝貸出数
- 貸出最大期間は図書館側で予め設定可能

指定無料ソフトウェア：Adobe Digital Editions(PC)、Bluefire Reader(iOS、Andorid)

©KNOKUNYA COMPANY LTD.

28

データベースのように検索、文献検索ツールとしても活用

NetLibrary TOP画面

<http://search.ebscohost.com>

- 購入タイトル全部を横断検索
- 書名、目次、件名、全文も対象
- EBSCOhostのデータベースと横断検索

OPAC

ディスカバリーサービス

- OPACの検索結果から本文へ
- 紙と電子を意識せず検索
- MARCを無償提供

検索・利用の入口



(参照) 大阪市立図書館の例

©KNOKUNYA COMPANY LTD.

(参照) 京都大学OPACの例

26

データベース的な文献検索機能

- キーワード等による横断検索（全購入タイトル、目次・全文も含む）
- 基本検索と詳細検索を用意
- 新字旧字変換、表記のゆれへ対応（特に資料系コンテンツで重要）
- 関連度の高い本文ページのプレビュー表示
- 検索用のプレーンテキストファイルを作成
- レファレンスツールとして活用する機能もあり



本文プレビュー表示機能
(3件まで)でイメージしやすい

選択した電子書籍の中でさらに全文検索

©KNOKUNYA COMPANY LTD.

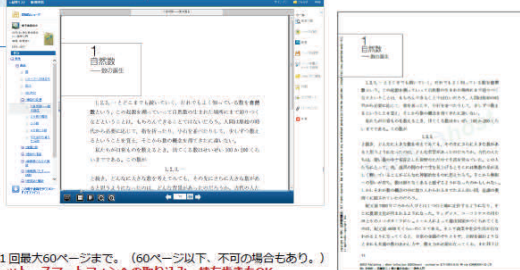
29

オンライン閲覧と本文の保存（標準機能）



目的の場所にすばやくアクセス・参照
必要な本文ページを保存、印刷、持ち歩き

- eBook内全文検索
- ノートの作成
- 英英辞書
- 保存と印刷
- メール添付送信
- マイフォルダ
- 引用支援
- 書誌エクスポート
- 同定リンク作成
- 共有



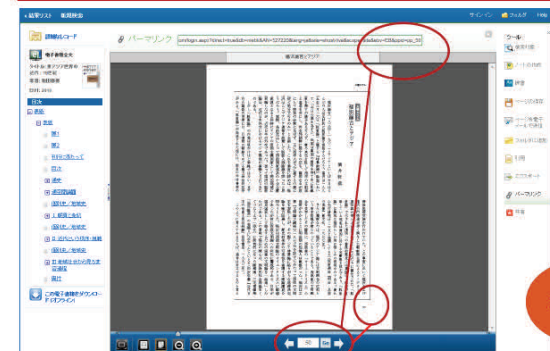
*PDFで1回最大60ページまで。(60ページ以下、不可の場合もあり。)
PC、タブレット、スマートフォンへの取り込み、持ち歩きもOK。
(読みし入り・保存日付記録)

©KNOKUNYA COMPANY LTD.

27

ページ番号は紙書籍と一致

- ページ単位のパーマリンク（固定URL）を作成できる
- 引用・参照箇所への素早いアクセスや授業、課題での活用も可能



丁寧な
コンテンツ
づくり

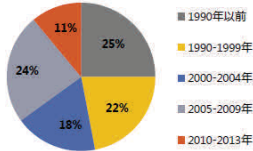
©KNOKUNYA COMPANY LTD.

30

■和書コンテンツ（2012-2013売れ筋より）

| 出版社 | 書名 |
|-----------|--------------------|
| 朝倉書店 | 物理学大事典 |
| 共立出版 | 化学大事典(上中下) |
| 岩波書店 | 岩波数学入門辞典 |
| 日外アソシエーツ | 科学技術 45万語英和対訳大辞典 |
| 朝倉書店 | 分離分析化学事典 |
| 東京電機大学出版局 | 一流の科学者が書く英語論文 |
| 実教出版 | 暮らしの中の人間工学 |
| 共立出版 | 言語処理学事典 |
| 実教出版 | 波動工学入門 |
| 文一総合出版 | エロシブ講座 森の不思議を解き明かす |

コンテンツ出版年比率
(2013-2014年)



- ✓ 学生向け図書・基本図書が人気
- ✓ 辞書類は館外貸出扱いで人気
- ✓ 理工書は過去の良書も多い

| 出版社 | 書名 |
|----------|----------------------|
| 実教出版 | 自分を活かすコミュニケーション |
| 実教出版 | ビジネスプレゼンテーション |
| 岩波書店 | 現代中国年表 1941-2008 |
| 日外アソシエーツ | 環境問題情報事典 |
| アルク | はじめての留学スーパーガイド |
| 朝倉書店 | 現代心理学「理論」事典 |
| 文真堂 | 現代アジア事典 |
| 文真堂 | やさしい法律情報の調べ方・引用の仕方 |
| 中央経済社 | ベーシック経営学辞典 |
| 有斐閣 | 遺産マインド：遺伝子が継り成す行動と文化 |

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

31

■価格モデル

和・洋書買切りモデル

- 書籍価格のみ
- 初期導入費、年間利用料は不要
- 本文同時アクセス1、3、無制限
- 和書は1と3（1の1.5倍）
- 個別アクセス数設定可能
- アップグレード可能

アーカイバルアクセス

- 買切り→永続的なアクセスを保証

洋書年間購読モデル

- 同時アクセス無制限
- Academic Collection 13万点
- Clinical Collection 2,000点
- Education Collection 2,800点
- タイトルは随時追加
- 基本図書パッケージ

※システム導入費用は不要

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

34

価格モデル—洋書Subscription（年間購読）

■13万点、幅広い分野をカバー

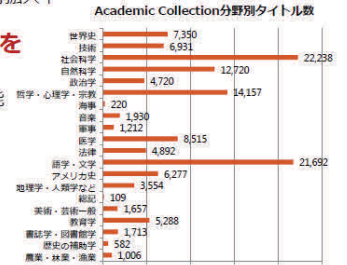
- 英米主要学術出版社、大学出版局中心の基本タイトルパッケージ
- Academic Collection 13万点、Clinical Collection 2,000点、Education Collection 2,800点
- 同時アクセス無制限、タイトル数は随時拡大中

■限られた予算で最大限の効果を

- もし単品購入すると計10億円弱
- 利用頻度の高いタイトルを買切りも可能

■導入事例

- 授業での活用（同時アクセス無制限）
- 対面レファレンスのツール
(学生の研究テーマやキーワードでデータベースのように文献を探す)



©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

35

| 出版社 | シリーズ・資料コレクション名 |
|---------------|---------------------|
| 朝倉書店 | 物理学30講シリーズ |
| 朝倉書店 | 講座 情報と読む統計学 |
| 実教出版 | 専門基礎ライブラリー |
| 中山書店 | 看護のための最新医学講座 |
| 中山書店 | 臨床精神医学講座 |
| 東京電機大学出版局 | 化学計算法シリーズ |
| 建邦社 | 看護学 TAOSシリーズ |
| 中央法規出版 | 対論 社会福祉学 |
| 吉川弘文館 | 国史大系・日本随筆大成 |
| 日本評論社 | 明治文化全集 |
| 白水社 | 日本の神々 |
| 白水社 | シェイクスピア全集 |
| みすず書房 | 現代史資料 |
| ミネルヴァ書房 | 雑誌「発達」バックナンバーコレクション |
| 東洋経済新報社 | 長期経済統計 |
| 研究社 | シリーズ日本語のしくみをさぐる |
| 紀伊國屋書店 | 大人のための数学 |
| アルク | 英和学習基本用語辞典シリーズ |
| 岩波書店 | 岩波講座哲学 |
| マクミランランゲージハウス | マクミラン リーダーズ |
| コロナ社 | 機械系大学講義シリーズ |
| 岩波書店 | 統計科学のフロンティア |
| NTT出版 | 展書コムニス |
| オーム社 | シリーズ移動知 |

【シリーズ・資料コレクション】 【全集・著作集】

岩波書店「夏目漱石全集」「森鷗外近代小説集」
教文館「新渡戸稲造全集」他
慶應義塾大学出版会「福澤諭吉著作集」
春秋社「中村元選集」「平川彰著作集」他
玉川大学出版局「小原国芳全集」他
東洋経済新報社「石橋湛山全集」
「高橋亀吉著作集」
白水社「デカルト著作集」
「キルケゴール著作集」他
平凡社「南方熊楠全集」「岡倉天心全集」他
未来社「宮本常一著作集」他
吉川弘文館「永原慶二著作集」他
みすず書房「フッサール著作全11点」他
大修館書店「ワイトゲンシュタイン全集」

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

32

■洋書コンテンツ

■学術・教養書

- 欧米主要学術出版社1800社以上、66万点以上、新刊多数
- 中小学術出版社・大学出版局も多数参加



■一般書・多読コンテンツ

- 一般書（Popular Fiction & Nonfiction）、ヤングアダルト
- 多読テキストも搭載（マクミランリーダーズなど）



©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

33

■購入・コレクション構築事例

➢ 経常購入・冊子体から置き換え（特に洋書）

- 書架の圧迫、冊子体の利用率の低さ
- 教員の理解も高くなっている（電子化の普及）
- eBookがあるものは原則eBookで購入という方針

➢ シラバス図書をeBookで購入

- 指定図書・参考図書は高い利用率がみられる
- 例）紙2部+電子1部で利便性UP
- OPACのみでなく、eBookタイトルリストの公開も効果的

➢ BookWeb Proからのオンラインオーダー

- オンライン発注機能の提供
- 冊子体と横断検索、ISBN一括検索
- リクエスト本をeBookで購入（納期短縮）
- 冊子体が絶版でもeBookは入手可能な場合もあり、eBook先行搭載もあり

➢ 補助金の活用

- 活性化補助金など。ICT活用、ラーニング commons、語学学習

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

36

②新しい電子図書館モデル LibrariE™

日本電子図書館サービス (JDLS) 設立の目的と理念

2013年10月15日、KADOKAWA、講談社、紀伊國屋書店の3社出資で設立

電子書籍時代に即した新しい電子図書館モデルLibrariEの構築

- 図書館向け電子書籍が非常に少ない現状の打破
- 図書館に求められる基本機能の提供

基本
理念

図書館、図書館利用者、著作者、出版社をつなぐ
架け橋となる存在になる

2015年4月の営業開始に向け、2014年10月より実証実験
を実施中 (山中湖情報創造館、稲城市立図書館)

2015年4月～
営業開始

LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

37

LibrariE™ 販売モデル① (基本パターン)



ワンコピー/ワンユーザー型

1度に1人のみに貸出し可能なモデル

2年間または52回までのアクセス権が提供される

※複数ライセンス購入により、複数人への貸出しが可能

※初回アクセス権の購入にあたっては、ワンコピー/ワンユーザー型が基本

2015/02/06

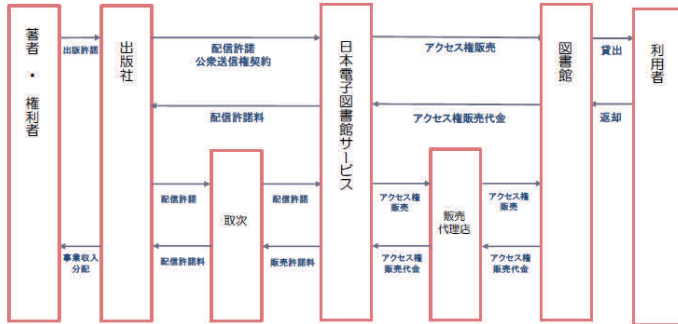
LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

40

(著作権者への利益還元を実現するアクセス権販売モデル)

JDLSは出版社・著者・権利者との契約に基づく電子書籍のアクセス権販売モデル。
図書館様とJDLSは期限付きアクセス権としてライセンス契約をおこなう。



2015/02/06

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

38

LibrariE™ 販売モデル② (更新時オプション)



都度課金型

電子書籍によっては、新刊の時には利用が多くても2~3年たつと
年間貸出回数が数回程度になる状況が想定される

発行からある程度すぎて貸出しが少ない電子書籍について、
ワンコピー/ワンユーザー型を補完するのが都度課金モデル

年間予算 (上限) を設定することによって、予算制御が可能

2015/02/06

LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

41

LibrariE™ 貸出・返却モデル



貸出期間 → 原則、2週間

返却 → 貸出期間が過ぎると自動返却 (随時返却可)

貸出期間の延長 → 可 (1回のみ1週間延長可。ただし予約待ちの場合は不可)

365日24時間どこからでも貸出・返却が可能

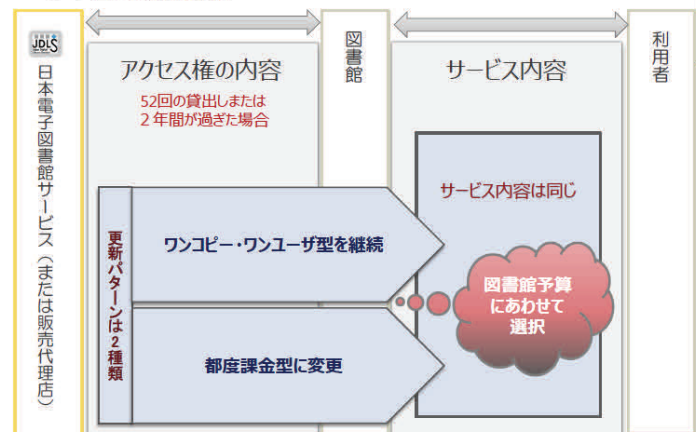
2015/02/06

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

39

LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

ライセンスの更新



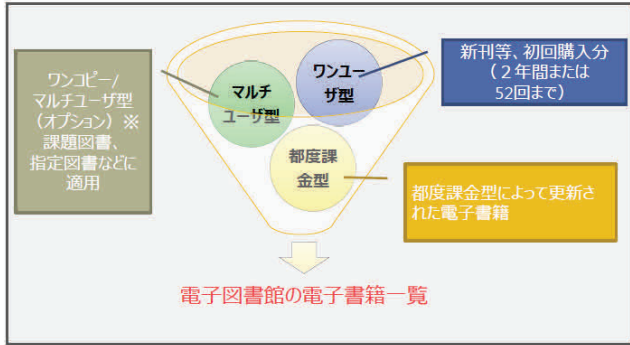
2015/02/06

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

42

LibrariE™ 選書オーダリングシステム

電子書籍のアクセス権は、LibrariE 選書オーダリングシステムで選書し、予算管理をしながらアクセス権の購入・更新を行うことができる



2015/02/06
LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

43

5つの専門性

- ① 学術情報流通に詳しく、学術情報基盤を構築する
- ② 特定の主題分野のコレクション構築を行うとともに、その主題に関わる学習・研究を行う利用者に対してサービスを行う
- ③ 利用者とコミュニケーションをとりながら、研究・調査の企画・実施に関わる
- ④ 研究者として図書館情報学の発展を担う
- ⑤ インターネット等の技術を駆使して、新しい利用者サービスを構築する

*1人にこれら全ての専門性が必要とされるわけではない

参考] 未来の図書館は「Cybrarian」が変える (スタンフォード大学図書館長Michael A.Keller氏が語る) | <http://kaze.shinshomajp.info/special/23/01.html>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

46

③ 変わる図書館の役割 図書館にとっての電子化

メリット

- ・ 作業コストの減少 (予約、貸出、返却受入)
- ・ 保管スペースの減少
- ・ 保管コストの減少

課題

- ・ 著作権を守りながら適切で快適な環境をつくる
- ・ 利用者への教育
- ・ DRMのシステムへのくみこみ



参考] 未来の図書館は「Cybrarian」が変える (スタンフォード大学図書館長Michael A.Keller氏が語る) | <http://kaze.shinshomajp.info/special/23/01.html>

画像: May 29, 2013 Northeastern to expand library's cutting-edge Digital Media Commons <http://www.northeastern.edu/news/2013/05/digital-media-commons-expansion/>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

44

求められる役割

情報の専門家

- ✓ 出版流通のしくみに沿った資料収集 受動
- ✓ 各所と交渉したり、働きかけを行い、工夫を凝らして資料を入手 能動
- ✓ 利用者が容易にアクセスできるように必要な情報資源を関連付ける/システム・サポート機能
- ✓ ナビゲーション機能・ディスカバリー機能を強化

デジタル情報への感性と技術

デジタル化された情報の中から、利用者の要望に応じて、いかに上質な情報を、いかに的確に提供できるか



紀伊國屋書店

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

47

図書館の業務はどうなるか

これまでの業務

- ・ 資料の収集、組織化 (目録作成など)、蓄積、提供
- ・ 利用者サービス (貸出、レファレンス、相互貸借 (ILL)、利用案内、文献検索指導)
- ・ その他 (HPの管理、館内整備、図書館システムの管理)

新しく追加される業務

- ・ カリキュラム (各部署業務) と直結した資料整備
- ・ 情報リテラシー教育への直接的関与
- ・ 研究に直結するレファレンス
- ・ 組織の研究・調査成果の集積と発信
- ・ 情報・研究交流の「場」の提供 (ラーニング・コモンズ)

参考: 文科省「大学図書館職員の育成・確保」を一部加筆修正 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/houshin/attach/1301610.htm

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

45

(ご参考) 紀伊國屋書店が扱う電子書籍サービス

| | Kinoppy | | NetLibrary | 海外出版社系 eBook | LibrariE™ |
|-------|--------------|-----------------|-------------------|---------------|------------------------------|
| | Book Web Pro | MyKITS | PLATON連携 (今後検討) | BookWeb Pro連携 | — |
| 対象 | 個人 (大学・企業様内) | 個人 (学生) (大学教務様) | 法人 (大学・企業・公共の図書館) | 法人 (大学図書館様) | 法人 (図書館全館) |
| | B to C | B(to B) to C | B to B to C | B to B to C | B to B to C |
| 運営・開発 | 紀伊國屋書店 | 紀伊國屋書店 | EBSCOhost | 各出版社 | JDLS |
| 価格 | 初期導入 | なし | なし | なし | (あり) |
| | コンテンツ | 買切 | 買切 年間購読 | 買切 年間購読 | アクセス権契約 |
| コンテンツ | 点数 | 和書 20万超 | 和書 約7,400 洋書 66万超 | 洋書 約20万 | 和書 (1万以上) よりサービス開始 (2015年4月) |
| | 特徴 | 一般書・教養 (学術書) | 指定タイトルを交渉して配信 | 学術・教養 | 学術・専門 |
| システム | 認証 | ID/PWD | ID/PWD | さまざま | ID/PWD |
| | 決済 | 請求書 カード決済 | 現金決済 | 請求書 | 請求書 |

LibrariEは株式会社日本電子図書館サービスの商標です

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.



株式会社 紀伊國屋書店
営業企画部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-1
EIGYO@KINOKUNIYA.CO.JP

「OCLC とディスカバリサービスの今後」 講演資料

Webスケール・ディスカバリサービス



“Connect your users to the information they need.”
“Connect your library to the world.”

第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会 様
2015年2月24日



OCLC® The world's libraries. Connected.™



紀伊國屋書店

BOOKS KINOKUNIYA

OCLCの歴史

1967年 Ohio College Library Center 設置
オハイオ州内54の大学の「情報の共有」と「個々の大学図書館の経費削減」が当初の設立目的

1971年 オンライン・カタログ・サービス開始 (共同目録 WorldCat リリース)

1977年 オハイオ州外へのサービス提供開始

1981年 Online Computer Library Center に名称変更

1986年 OCLC Inc. に名称変更

1986年 紀伊國屋書店 がOCLCの提供する各種サービスの国内販売を開始

2010年 資料の変化 (紙、電子、デジタル、マルチメディア…)
利用者ニーズの変化 (Google, facebook, wikipedia…)
↓
メタデータ中心のサービス提供に特化することを宣言
クラウドコンピューティングによる情報共有や資源の有効活用を志向

BOOKS KINOKUNIYA

本日のご案内内容

- 1 OCLC
- 2 WorldCat
- 3 WorldCat.org
- 4 WorldCat Discovery Services

検索

BOOKS KINOKUNIYA

OCLCの統治体制

世界25000+の OCLCメンバー機関

- アジア・パシフィック 地域議会
- アメリカ地域議会
- EMEA地域議会

■ アジア・パシフィック地域
■ アメリカ地域
■ ヨーロッパ・中東・アフリカ (EMEA) 地域

OCLC グローバル議会

OCLC理事会

BOOKS KINOKUNIYA

OCLCとは



1967年に設立された世界最大の図書館共同体
参加図書館によって運営され、10ヶ国に20拠点を持つNPO

世界171か国/地域 72,000の図書館にサービスを提供
アジア・パシフィック地区：6,000館以上

Mission

リソース・シェアリング (目録の共同構築やILL) を通じて
図書館の効率的な運営、利用者へのより良いサービス提供
に寄与すること。





BOOKS KINOKUNIYA

本日のご案内内容

- 1 OCLC
- 2 WorldCat
- 3 WorldCat.org
- 4 WorldCat Discovery Services

検索

BOOKS KINOKUNIYA

WorldCat とは

1971年から40年以上、世界中の図書館が協力して構築してきた
 OCLCの中核を成す共同目録データベース

WorldCat

- 唯一の世界的な図書館総合目録データベース
 書誌レコード:3億件 所蔵レコード:20億件(世界11,000館)
- 図書館資料(電子・紙媒体)の書誌情報を収録
 書籍・雑誌・映像資料・音声資料・地図・インターネット情報資源
 電子ジャーナル・eBook・電子論文・楽譜 など

WorldCat 分類: 書籍 書誌, 雑誌 書誌, OJ 書誌

7

BOOKS KINOKUNIYA

本日のご案内内容

- 1 OCLC
- 2 WorldCat
- 3 WorldCat.org
- 4 WorldCat Discovery Services

検索

10

BOOKS KINOKUNIYA

33の国立図書館もWorldCatに所蔵を登録

| | | |
|--|-------------------------------|-------------------------------------|
| オーストラリア国立図書館 | National Library of Ireland | National Library of the Netherlands |
| National Library of Barbados | National Library of Israel | ニュージーランド国立図書館 |
| The British Library | National Library of Jamaica | National Library of Scotland |
| Library and Archives Canada | 国立国会図書館 | シンガポール国立図書館 |
| National Library Chile | National Library of Lithuania | National Library of Slovenia |
| 中国国家図書館 | マレーシア国立図書館 | National Library of South Africa |
| National Library of the Czech Republic | National Library of Mexico | National Library of Spain |
| Royal Library of Denmark | | National Library of Sweden |
| National Library of Finland | | Swiss National Library |
| National Library of France | | 国家図書館(台湾) |
| German National Library | | National Library of Turkey |
| National Library of Iceland | | The Library of Congress, U.S.A. |
| Iraqi National Library and Archive | | National Library of Wales |

8

BOOKS KINOKUNIYA

CiNiiやGoogleのサイトでも図書館をアピールしたい

調査結果 (2005年) 情報検索の際、圧倒的に検索エンジンが利用されているという事実
 = 利用されない図書館サービス

Google YAHOO!

図書館の気持ち: Web上の情報検索者にもっと図書館サービスをアピールしたい!

OCLCの対策 (2006年) 検索エンジン等からWorldCat上の書誌についての所蔵館情報を介して
 利用者を図書館へ誘導する無料サービスを開始
 = **WorldCat.org**

検索エンジンで見つかる情報は玉石混交。図書館にはお金を払って所蔵・契約している信頼性の高い情報があるのに...

お探しの資料は当館でご利用頂けます!

11

BOOKS KINOKUNIYA

成長を続ける巨大書誌データベース

Web環境における和書データの可視化を指向し、
2011年 JAPAN/MARC単行書 (Monograph)
2013年 JAPAN/MARC逐次刊行物 (Serial)
 書誌全件レコードをWorldCatに搭載開始。

国立国会図書館

| 資料言語 | レコード数 |
|------------|------------------|
| 英語 | 125,613,067 |
| ドイツ語 | 41,148,749 |
| フランス語 | 29,211,118 |
| スペイン語 | 14,475,094 |
| 中国語 | 9,893,125 |
| 日本語 | 9,499,421 |
| イタリア語 | 7,046,484 |
| オランダ語 | 5,003,950 |
| ラテン語 | 4,205,962 |
| ロシア語 | 4,035,042 |

WorldCat 書誌レコード数 (単位:100万)

June 30, 2014: 英語 39%, 英語以外 61%

June 30, 2013: 303

1998: 39, 1999: 41, 2000: 44, 2001: 47, 2002: 50, 2003: 52, 2004: 55, 2005: 61, 2006: 67, 2007: 86, 2008: 108, 2009: 139, 2010: 197, 2011: 236, 2012: 273

9

BOOKS KINOKUNIYA

WorldCat.orgとは

WorldCat+ 論文情報の無料検索サイト

近くの図書館の所蔵資料をさがす

WorldCat.org

ArticleFirst, MEDLINE, ERIC, JSTOR, OAIster, PapersFirst, ProceedingsFirst, Elsevier, BL Inside Serials, 雑誌記事索引, JapanKnowledge

12

BOOKS KINOKUNIYA

他サイトの書誌情報から所蔵館情報へリンク

Google books 電子書籍の検索

電子書籍の検索: 探しにくい書籍も、いかに復活させるか?

GoogleブックスからWorldCat.orgへ

CiNii BooksからWorldCat.orgへ

電子書籍の検索: 探しにくい書籍も、いかに復活させるか?

電子書籍の検索: 探しにくい書籍も、いかに復活させるか?

BOOKS KINOKUNIYA

13

WorldCat Discovery Servicesとは

紀伊國屋大学と世界の図書館を検索

OCLC® の中核サービス WorldCat® を
最大限に活用することのできる
Webスケール・ディスカバリーサービス

言語: 中国語・ドイツ語・英語・フランス語・イタリア語・日本語・韓国語・ポルトガル語・ロシア語・スペイン語・タイ語・トルコ語・ベトナム語・ドイツ語

Copyright © 2014 OCLC All rights reserved.
プライバシーポリシー
お問い合わせ

BOOKS KINOKUNIYA

16

1 OCLC

2 WorldCat

3 WorldCat.org

4 WorldCat Discovery Services

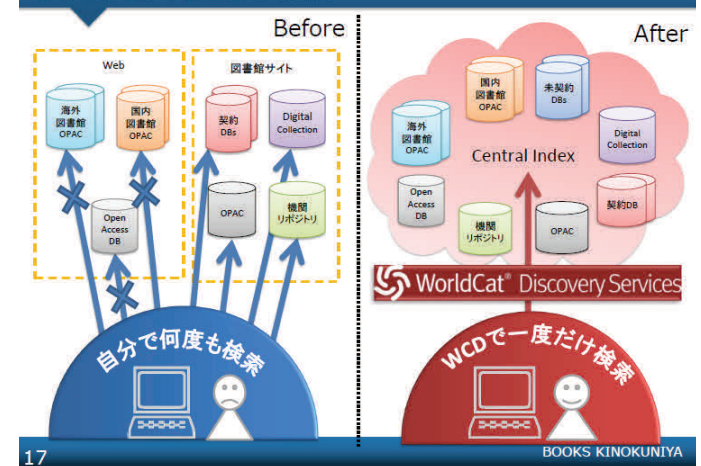
本日の
ご案内内容

検索

BOOKS KINOKUNIYA

14

導入前後の検索の変化



17

図書館の資料をもっと使って欲しい

状況

図書館情報への入口が、フォーマットやベンダーにより複数存在。情報の発見・入手に手間がかかり、敬遠されてしまう。
= 折角の購入・契約資料が有効利用されていない

Google

1度で全部見つかる

図書館の気持ち

検索エンジンの手軽さに慣れた利用者にも、図書館資料をもっと活用して欲しい!

Before

OPAC

DB

リポジトリ

DB

デジタルコレクション

DB

簡単に見つけれない情報は、一部の利用者にとっては存在しないも同然...

After

世界発のWebスケールディスカバリーサービスを開発。
= WorldCat Discovery Services..

図書館のすべての提供情報を、Googleのように1つの検索ボックスからまとめて探せます!

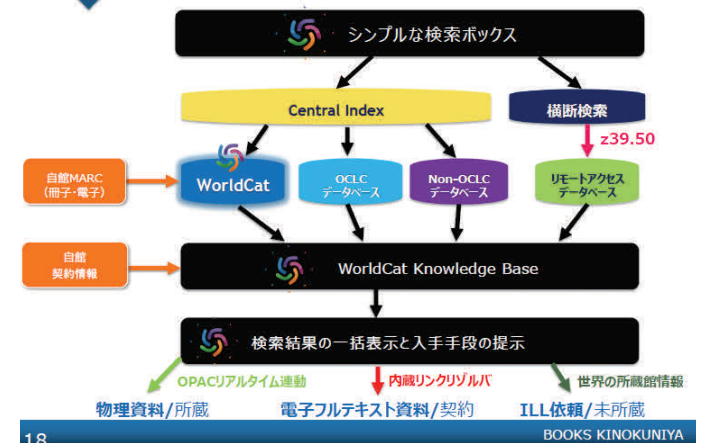
OCLCの対策 (2007年)

- ワシントン大学と共同開発
- **国際WorldCat Local

BOOKS KINOKUNIYA

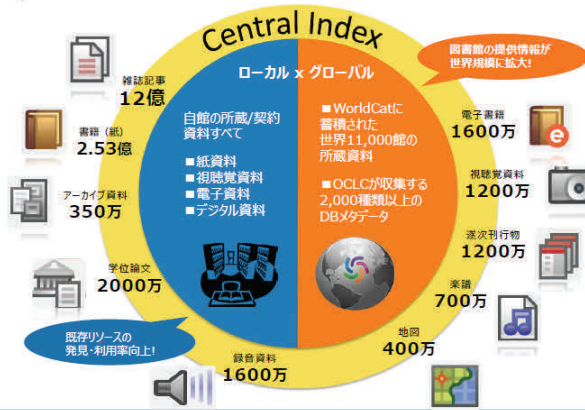
15

機能図式



18

検索対象①自館資料+世界の図書館資料



19

BOOKS KINOKUNIYA

ユーザーインターフェース

多言語対応

言語: Čeština · Deutsch · English · Español · Français · Italiano · Maori · Nederlands · Português · Svenska · 日本語 · 한국어 · 中文(简体) · 中文(繁體) · বাংলা

レスポンス・インターフェース

シンプルな検索画面

紀伊國屋大学と世界の図書館を検索

22

BOOKS KINOKUNIYA

検索対象②コンテンツ提供元

Central Index全搭載コンテンツリスト <http://www.oclc.org/content/dam/oclc/worldcat-discovery/contentlist.xls>

Central Index

WorldCat.org

- WorldCat
- JAPANMARC 集行書
- JAPANMARC 逐次刊行物
- ArticleFirst
- MEDLINE

ERIC

- JSTOR
- OAIster
- PapersFirst
- ProceedingsFirst
- Elsevier

BL Inside Serials

- 雑誌記事索引
- JapanKnowledge

2000種以上のDB、コンテンツを搭載

搭載コンテンツ例

- ProQuest
- ELSEVIER
- WILEY
- SALE
- Springer
- ebrary
- swets
- INGRAM
- CAMBRIDGE
- OXFORD
- Taylor & Francis

搭載予定コンテンツ例

- CiNii Articles
- 東洋経済DCL
- JAIRO
- 日外BOOKデータ
- 医中誌Web
- 日外magazineplus
- J-STAGE
- ブリタニカ・オンライン
- JDream III
- 日経BP記事検索サービス
- 主要新聞

20

BOOKS KINOKUNIYA

詳細検索

詳細検索

キーワード

AND

検索結果の並び順

検索結果の並び順

検索結果の並び順

23

BOOKS KINOKUNIYA

検索→発見→入手までサポート

紙資料 | 所蔵あり

電子資料 | 契約あり

2冊閲覧

913.61 [M]11

OPACリアルタイム連動(オプション)

地下1階南庫

0981 [M]11344

資料の購入

販売者

British Library Online

21

BOOKS KINOKUNIYA

電子ジャーナルリスト(AtoZ)

WorldCat Discovery Services から AtoZ リストへ

検索

電子ジャーナルリスト

1993

電子誌

ISSN: 1542-694X

21st century music

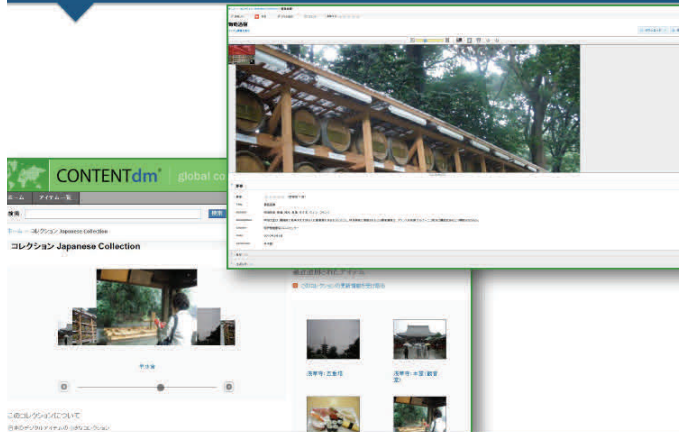
電子誌

ISSN: 1534-3219

24

BOOKS KINOKUNIYA

自館デジタルコレクションの公開・管理



25

BOOKS KINOKUNIYA

お問い合わせは



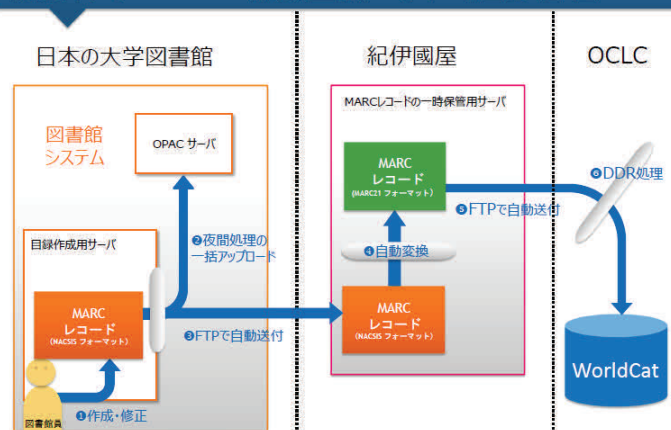
株式会社 紀伊國屋書店
学術情報商品部 OCLCセンター

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-1
Tel 03-6910-0516
Email oclc@kinokuniya.co.jp

28

BOOKS KINOKUNIYA

紙資料のWorldCat所蔵登録モデル(経常処理)



26

BOOKS KINOKUNIYA

電子資料のKnowledgeBase一括登録モデル



27

BOOKS KINOKUNIYA

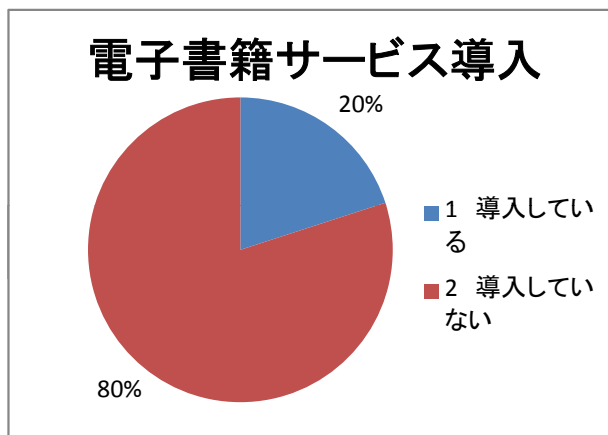
「第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会」事前アンケート集計結果報告

<概要>

- ①実施期間：平成27年2月10日（火）～平成27年2月17日（火）
- ②調査対象：福島県内大学図書館連絡協議会加盟館（13館）・参加館（20館）合計33館
- ③実施方法：「第21回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会」開催通知とともに、メールにて依頼した。実務者研修会のテーマの一つである「電子書籍」について、加盟館、参加館の傾向を把握するものである。実務者研修会の参加に関わらず、メールにアンケート用紙（A4サイズ1枚）を添付の上、提出を依頼した。
なお、アンケート内容について講演内容へ反映するため、事前に講師に公開することの了解を得た。
- ④送付数：30館
※大熊町図書館・浪江町図書館・双葉町図書館は、東日本大震災の影響により休館中のため未実施
- ⑤回収数：30館

問1 電子書籍(電子ブック)サービスを導入していますか。

| | 回答数 |
|-----------|-----|
| 1 導入している | 6 |
| 2 導入していない | 24 |
| 計 | 30 |

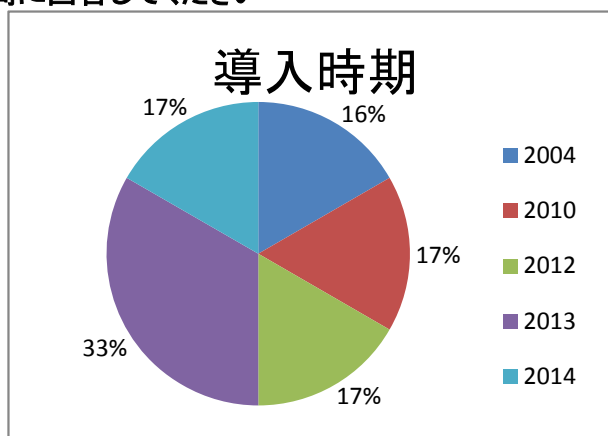


問2 問1で「導入している」に回答の場合、質問に回答してください

①いつ頃導入しましたか。

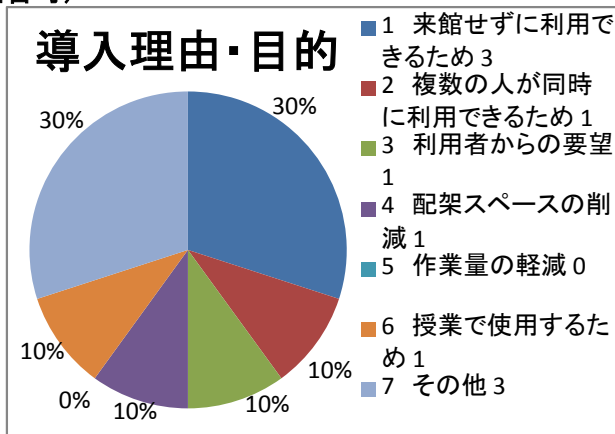
- ・2004年4月頃
- ・2010年度
- ・2012年3月頃
- ・2013年
- ・2013年6月頃
- ・2014年5月頃

回答数 6



②どのような理由・目的で導入しましたか。(複数回答可)

| | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 1 来館せずに利用できるため | 3 |
| 2 複数の人が同時に利用できるため | 1 |
| 3 利用者からの要望 | 1 |
| 4 配架スペースの削減 | 1 |
| 5 作業量の軽減 | 0 |
| 6 授業で使用するため | 1 |
| 7 その他 | 3 |
| 計 | 10 |



○その他の回答

- ・学生の自主学習を促進するため。
- ・2013年5月頃にラーニング・コモンズの導入に合わせて試験的に端末(iPad5台)を導入。
電子書籍は2014年6,7月に購入した。
- ・購入予算が確保できないため。

③ タイトル数をお聞かせください。

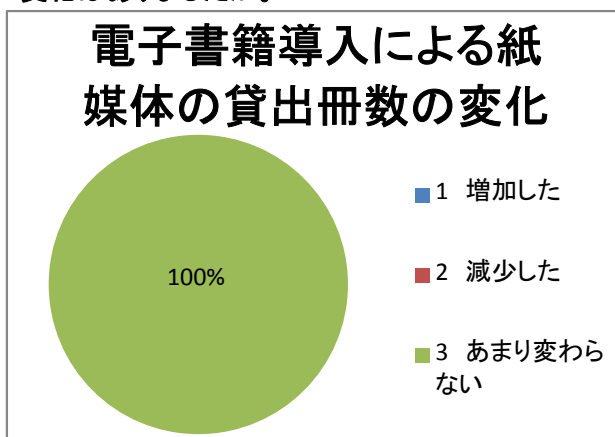
- ・和書87
- ・和書3221
- ・和書15
- ・和書399
- ・和書506
- ・洋書123
- ・洋書25075
- ・洋書0
- ・洋書19
- ・洋書426
- ・洋書436

④ 導入パッケージ、またはプラットフォームをお聞かせください。

- eBooks on EBSCOhost (NetLibrary)
- 丸善 eBook Library
- 化学書資料館
- Elsevier ScienceDirect
- IEL
- IEEE-Wiley eBooks Library
- Oxford Digital Reference Shelf
- Oxford Scholarship Online (タブレット端末(iPad)とPC~合わせて3台利用可能)
- Springer E-Books (SpringerLink)

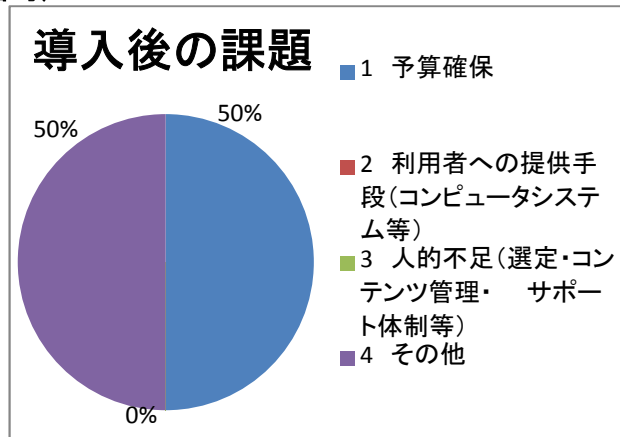
⑤ 電子書籍の導入によって、紙媒体の貸出冊数に変化はありましたか。

| | 回答数 |
|------------|-----|
| 1 増加した | 0 |
| 2 減少した | 0 |
| 3 あまり変わらない | 6 |
| 計 | 6 |



⑥ 導入後の課題をお聞かせください。(複数回答可)

| | 回答数 |
|----------------------------|-----|
| 1 予算確保 | 3 |
| 2 利用者への提供手段(コンピュータシステム等) | 0 |
| 3 人的不足(選定・コンテンツ管理・サポート体制等) | 0 |
| 4 その他 | 3 |
| 計 | 6 |



○その他の回答

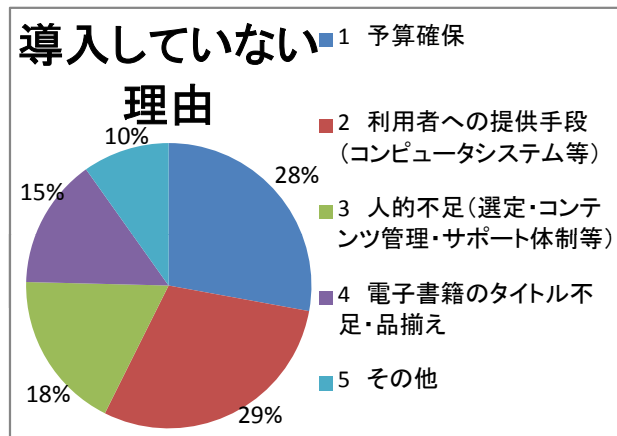
・コンピュータシステム等ではなく、いかにして学生へ見てもらうかを課題としています。現状はポスターや広報誌に載せたり、先生方への授業等で使用してくださいといったメールをしました。

- ・利用者がいない。
- ・利用者への周知。

問3 問1で「導入していない」に回答の場合について、回答ください

① 現在導入していない理由を、次の項目より選んでください。(複数回答可)

| | 回答数 |
|----------------------------|-----|
| 1 予算確保 | 17 |
| 2 利用者への提供手段(コンピュータシステム等) | 18 |
| 3 人的不足(選定・コンテンツ管理・サポート体制等) | 11 |
| 4 電子書籍のタイトル不足・ | 9 |
| 5 その他 | 6 |
| 計 | 61 |

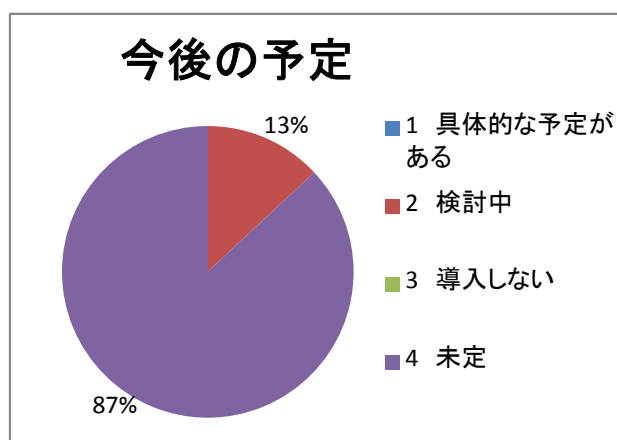


○その他の回答

- ・デジタル化するための環境。機材、サーバ、ネットワーク環境等。
- ・運用方法など検討していない。
- ・要望無。
- ・導入が当町の実情に合うかどうかが見極められないため。

②今後の予定について選んでください。

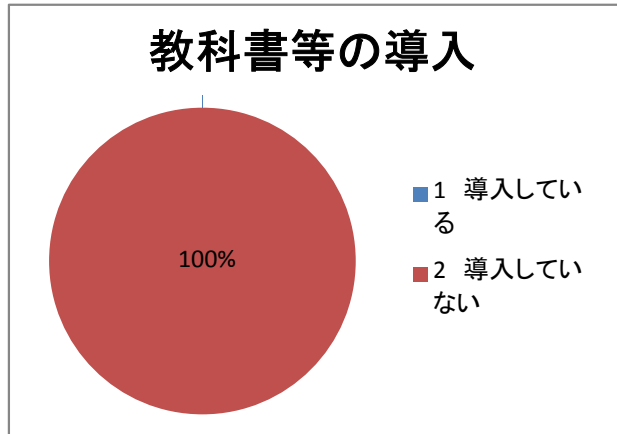
| | 回答数 |
|-------------|-----|
| 1 具体的な予定がある | 0 |
| 2 検討中 | 3 |
| 3 導入しない | 0 |
| 4 未定 | 20 |
| 計 | 23 |



問4 学校関係(大学・短大・高専)の図書館にのみ伺います。

①授業で学生・生徒が使用する教科書等を電子書籍で導入していますか。

| | 回答数 |
|-----------|-----|
| 1 導入している | 0 |
| 2 導入していない | 12 |
| 計 | 12 |

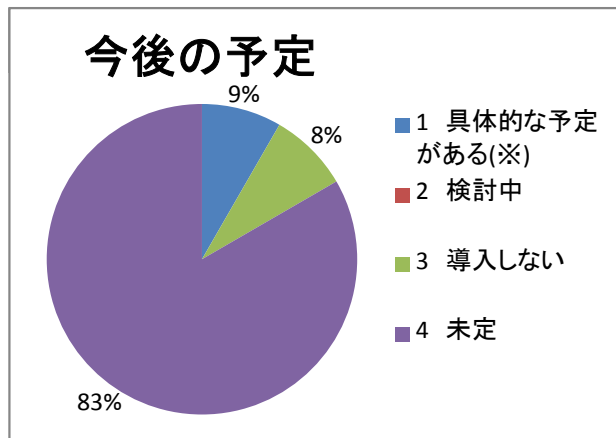


②問4①で「導入している」場合、導入科目数は何科目ですか。

| | 回答数 |
|-----------|-----|
| 1 1～10科目 | 0 |
| 2 11～20科目 | 0 |
| 3 21科目以上 | 0 |
| 計 | 0 |

③問4①で「導入していない」場合、今後の予定について、1つ選んでください。

| | 回答数 |
|----------------|-----|
| 1 具体的な予定がある(※) | 1 |
| 2 検討中 | 0 |
| 3 導入しない | 1 |
| 4 未定 | 10 |
| 計 | 12 |



※ 2015年4月頃

以上

相互利用参加館(公立図書館)紹介：白河市立図書館

白河市立図書館の沿革

明治42年(1909年)に旧白河町立図書館として仮開館した後、大正2年(1913年)、現在の白河第一小学校舎内に町立図書館として認可され、蔵書規模は3,604冊でした。2013年の12月に開館100周年が過ぎました。その後、町内を移転し昭和15年(1940年)町役場に、昭和22年(1947年)には南湖神社に蔵書が移管されています。

昭和24年(1949年)旧白河市制が施行(昭和30年にかけて4町村2地区が合併)され、4月に市立図書館として菖蒲沢に3,753冊の蔵書で開館し、同年5月には福島県立図書館白河分館が併置されました。その後、昭和31年(1956年)新蔵町に移転した後、昭和44年(1969年)、待望の旧白河市立図書館が手代町に新築・移設され、現在の白河市立図書館が開館するまでの42年間に亘り運営されました。その間、昭和59年(1984年)に福島県立図書館白河分館は廃止されました。

施設の老朽化と狭隘となった旧館は使いにくく利用も思わしくなく、その事に対し、建て替えを求める広範な市民の声が高まる中で、新しい市立図書館建築は現実のものとなっていきました。

平成6年度(1994年度)、複合文化施設等の都市施設建設事業用地として、国鉄清算事業団からJR白河駅前用地を市が取得した事が発端となり、その後の様々な個人・団体による協議検討を通じて平成17年(2005年)新しい市立図書館の「基本構想・計画」は策定されました。

設計段階では建屋の配置関係を全面的に変更するなど大胆な論議を経て、建設に着手され、平成23年(2011年)7月24日スタートした新しい白河市立図書館は、当初、4月30日の開館を目指して準備が進められていましたが、準備段階の最終盤に東日本大震災が発生し、計画を変更せざるを得ませんでした。

開館後は、「基本構想・計画」で想定された来館者の目標値を大幅に上回り、市民の図書館ニーズに充分応えると共に、駅前市街地の賑わい作り、活性化にも重要な役割を發揮しています。

平成17年(2005年)の合併時に設置されていた、旧3村(表郷、大信、東)の図書館、公民館図書室も地域館として一体運営され、各地域のサービスポイントとして地域住民の図書館ニーズにえています。



新しい市立図書館の運営の工夫を少しご紹介

- ① カフェを設置し、エントランスや2階テラスでの飲食ができる。また、図書館館内でキャップつき容器での飲料の持ち込を可能とし、水分補給とあわせリラックス効果も生み出すよう配慮した。
- ② 身近な図書館として気軽な会話ができるよう、BGMを流し和やかな雰囲気を醸す。また、マスクング効果も狙う。
- ③ 蔵書構成を見直し、多様な読書要求にきめ細かく応えられるよう再構築する。
- ④ 予約・リクエストを積極的にアピールし、迅速かつきめ細かな対応をおこなう。蔵書検索から在架予約による取り置きを実施。
- ⑤ 地元出版流通の要である書店との連携を強化・充実する。
- ⑥ 資料調査・読書相談への対応を強化・充実し、読書や知りたいことで困ったら、図書館が頼れる場所であることをアピールする。
- ⑦ 複合施設としての「産業支援センター」、隣接する「白河商工会議所」との関連を視野に入れ、生業に役立つ「産業支援コーナー」を設置する。
- ⑧ 10代の若者たちの拠りどころとして、ティーンズコーナーを設置する。



- ⑨ 子どもの読書要求に応え、読書の楽しさを伝える児童書コレクションを再構築する。また、子どもの本のコーナーに、隣接した育児コーナーをおく。
- ⑩ インターネット閲覧PCを設置しインターネットへのアクセスや有料オンラインデータベース提供サービスを行う。NDLの図書館向けデジタル化資料送信サービスにも対応する。



- ⑪ PC優先席を設置し、個人持込のPC等へのWi-Fi環境、電源の提供を行う。

トピックス: 郡山女子大学のラーニングcommons開設

郡山女子大学では、平成26年度より62年館の2階と大学図書館の3階に「ラーニングcommons」と呼ばれる場所を設置しました。ラーニングcommonsとは、学生が自ら考え自ら行う、能動的な学修(これを「アクティブ・ラーニング」と呼びます)のために開放されている場所です。能動的な学修をサポートするために必要な機器を整備しています。



ラーニングcommons I (図書館3階)。
グループワークでも使える、組み合わせ自在なミーティングチェアを20脚用意しています。



ラーニングcommons I の電子黒板。パソコンをつないでプロジェクターとしても使用できます。



ラーニングcommons II (62年館2階)にはディスカッションや作業用のスペースとなる大きな机があります。

ラーニングコモンズⅡ (62年館2階)。

ワイドな電子黒板を2台, 通常のタイプを1台, ホワイトボードを1台準備し, ゼミ形式, ディスカッション, プレゼンテーションでの活用が期待されます。



ラーニングコモンズⅡの一角に「ITサポートルーム」を設置し, 学生に1台ずつ貸与しているノートパソコンの使用法や, 学生・教員のITに関するサポートを行っています。



ラーニングコモンズⅡにはプリンターを2台設置し, 学生のプレゼンテーションに使う資料の作成に便宜を図ります。



ラーニングコモンズは, 学生による次のような利用を想定しています。

- (1) 共同で学ぶ
- (2) 自由にディスカッションする
- (3) プレゼンテーションの練習をする
- (4) イベントを企画・実施する
- (5) 休息する

福島県内大学図書館連絡協議会会則

制定 昭和60年2月28日
改正 平成 2年7月 6日
改正 平成 5年7月 9日
改正 平成 7年7月25日
改正 平成12年7月14日
改正 平成15年7月11日
改正 平成16年8月 6日
改正 平成17年8月 5日
改正 平成18年8月24日

第1条 本会は、福島県内大学図書館連絡協議会(以下「協議会」という)と称する。

第2条 協議会は、次の大学図書館及び福島県立図書館並びに福島工業高等専門学校図書館をもって組織する。

- 1 会津大学情報センター
- 2 会津大学短期大学部附属図書館
- 3 いわき明星大学図書館
- 4 奥羽大学図書館
- 5 郡山女子大学図書館
- 6 桜の聖母短期大学図書館情報センター
- 7 昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)
- 8 日本大学工学部図書館
- 9 福島県立医科大学附属学術情報センター
- 10 福島学院大学図書館情報センター
- 11 国立大学法人福島大学附属図書館

第3条 協議会は、加盟館相互の緊密な連携と協力により、図書館の施設、管理、運営などについての進歩、改善を図ることによって、地域社会の進展に寄与することを目的とする。

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行なうものとする。

第5条 協議会の総会は年1回開催する。但し、必要に応じて臨時に開催することができる。

- 2 開催地については、原則として福島地区、郡山地区、いわき地区、会津地区とし、1か年交代とする。

第6条 会務を処理するために、幹事館をおく。

- 2 当分の間、福島大学附属図書館を常任幹事館とする。
- 3 第5条第2項における開催地区の加盟館の中から、協議によって、年度幹事館を選出し、年度幹事館は当該年度総会その他の事業運営を処理する。

第7条 協議会の事務局は、常任幹事館内におく。

第8条 協議会の運営に要する経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額5,000円とし、会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

附 則 この会則は、平成 2年 7月 6日から施行する。

附 則 この会則は、平成 5年 7月 9日から施行する。

附 則 この会則は、平成 7年 7月25日から施行する。

附 則 この会則は、平成12年 7月14日から施行する。

附 則 この会則は、平成15年 7月11日から施行する。

附 則 この会則は、平成16年 8月 6日から施行する。

附 則 この会則は、平成17年 8月 5日から施行する。

附 則 この会則は、平成18年 8月24日から施行する。

(会則第7条についての申し合わせ)

常任幹事館においては、会計処理、記録保存などの総合的会務を処理する事務局機能を担当し、年度幹事館は、常任幹事館との密接な連携の下に、当該年度総会その他の事業実施事務を担当する。

以上

福島県内大学図書館連絡協議会誌 第16号

平成27(2015)年3月 発行

編集担当: 郡山女子大学図書館

編集協力: いわき明星大学図書館

福島大学附属図書館

発行: 福島県内大学図書館連絡協議会